おいでめせ 水郷 オータムフェスタ

第1回 柳川市民まつり

▶特産品の海苔を使ってジャンボ巻寿司づくりに挑戦

◀豪快なマグロの解体実演

11月27日(日) 午前9時～
柳川市観光物産公園

合併後初の「柳川市民まつり」が11月27日(日)、市観光物産公園（上宮永町）で繰り広げられます。子供から大人まで楽しめるイベントがめじろ押し。ご家族おそろいでお出かけください。

◆特産品の展示・実演・即売

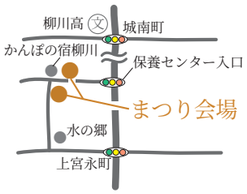
地元の新鮮な農産物、海産物、加工品などを展示即売。マグロの解体も実演します。

◆特産品つかみどり大会

カニ、エビ、川魚、ヒシなどのつかみどりと米つり大会。参加料金はヒシ、米つりは100円。カニ、エビ、川魚は無料。当日会場で受け付けます。

◆ジャンボ巻寿司

特産の海苔をふんだんに使ったジャンボ巻寿司づくりに挑戦。参加無料。当日会場で受け付けます。先着150人。



◆曇龍ちゃんこ大鍋

直径1.8メートルの大鍋でつくったちゃんこ鍋を一杯100円で提供します。

◆有明海大食彩・魚屋さんの食堂

地元の魚介類のおいしさを再発見。漁師さんが昔から行ってきた調理法で鍋、炊き込みご飯、煮つけなどをつくり、一杯・一皿100円で提供します。

◆心うきうき「釣り大会」

何がつれるか分からない海の中を再現します。1回1000円。タイ、ハマチ、マグロ、カニなど豪華魚介類を用意しています。

◆農産物収穫体験

大根・聖護院（しょうごいん）などの収穫を体験しませんか。収穫料金は1セット500円。募集数は80区画（当日募集）。問い合わせはJA柳川営農センター（☎76・5155）へ。

◆特産品争奪ウルトラクイズ

三択・近似値クイズで特産品などの景品を争います。

◆ウナギせいろ蒸し早食い大会

参加無料。当日会場で受け付けます。先着28人。

◆福引き抽選会

1000円の買い物につき1回の福引きができ、特産品などの景品がもれなく当たります。

◆TVキャラクターショー

子どもたちに大人気の「魔法戦隊マジレンジャー」が登場。

※このほかにも楽しい企画を用意してご来場をお待ちしています。問い合わせは柳川市民まつり実行委員会事務局（市商工観光課内、☎73・8111）まで。

各駐車場から無料送迎バスを運行します

※会場周辺は混雑が予想されます。車で来場される際は各駐車場からの無料送迎バスをご利用ください。駐車場は次のとおりです。

▽柳川市民グラウンド、JA柳川本所、市役所柳川庁舎、同大和庁舎、同三橋庁舎、柳川商工会議所、杉森女子高校、柳川消防署訓練所、県柳川総合庁舎、筑後中部魚市場、柳川大同青果市場

人

新シリーズ④

我がまちこの

「広報やながわ」では、毎月いろんな活動をしている市民を紹介していきます。今月は広田春男さんです。

広田さんは平均年齢が77歳のバンド「あひるの会」の会長で、筑後一円で演奏活動を続けています。

広田 春男 さん

棚町・83歳

音楽を通じ多くの人とふれあいたい

昭和18年には銃剣道で福岡県代表として出場した経験を持つ広田さん。兵隊として戦地から帰ってきた後、55歳の定年まで農機具の会社を勤め上げます。

それまで、バイクの免許は持っていましたが、車の免許は持っていなかった広田さんは定年退職後、自動車学校へ行き免許を取得するほど何ごとにも積極的。行政区長や民生委員、農業委員や農協の理事など様々な役職を歴任。5、6年前までは社交ダンスの「三友会」の会長として、趣味の社交ダンスも踊っていました。

平成7年9月に「自分たちで楽しもう」と近くで音楽教室をしていた馬場恵子さんに指導を仰ぎながら「あひるの会」は始まります。最初のメンバーは6人。現在では男女とも6人ずつの12人です。平均年齢が77歳で、練習会場にヨタヨタと集まってくる姿からこの名前がつきました。

広田さんは、この会に入って初めて、楽器に触ります。週1回の練習を続けても、はじめのころは楽譜も読めず、リズムを覚えても次の練習の時には忘れていたこともあります。

しかし、今では、年10回程度、老人ホームや病院などでコンサートを開くようになりました。公演を重ねるたびに自信をつけ、客層にあわせ70曲以上のレパートリーの中から、童謡、唱歌からなつかしの歌謡曲、ラテンナンバーなどを披露します。

広田さんはパーカッションやドラムなどを演奏します。手話を交えて演奏することも。福岡のメルパルクホールや矢部村へも出向きました。歌詞を知っている人がステージに上がり、歌ってもらったこともあります。5月8日には「結成10周年記念コンサート」を三橋公民館で開きました。

「ここまで続けられたのは、先生のおかげ」と話す広田さんは演奏中いつも笑顔。会場と一体となったすてきな演奏をする同会は、平成13年9月に高齢者の積極的な社会参加活動として評価され、内閣官房長官から「社会参加章」の表彰を受けました。「メンバーで歌が上手か人がおるけん、歌にも挑戦したかね」と今後の抱負を語ります。

50年ほど前から毎日日記をつけているという努力家の広田さん。「10年前の同じ日に、なんばしょったか分かる。ためになるばんも」。

3年ほど前から「自分史」を製作中。「自分のためにもなるし、家族におじいちゃんがどんな生活をしよったか伝えられたらとおもうてね」

「これからも生きがいとして、あひるの会をやっていきたい。音楽を通じ、多くの人とふれあいたい」と語る広田さん。様々な人との出会い、ふれあいを、日記に書きとめていきます。